ソフト・ハード一体となった災害対応力の強化

○　災害が発生した場合にも被災地の支援活動や社会経済活動の継続に必要な人流・物流を支えるため、関係機関と連携し港湾における防災訓練の実施、港湾ＢＣＰ※の改善等を行い、災害対応力の向上を図る。

※港湾BCP：災害時においても、港湾の重要な機能を最低限維持できるよう、発災後の具体的な対応手順等についてあらかじめ関係者間で作成した計画のこと。

港湾における総合防災訓練
（被災状況調査訓練）（R4 室蘭港）

港湾における総合防災訓練
（緊急支援物資輸送訓練）（R1 岩内港）

港湾における総合防災訓練
（港湾巡視訓練）（R2 根室港）

北海道太平洋側港湾BCP

北海道太平洋側港湾において大規模地震・津波が発生した際に、港湾管理者や北海道開発局をはじめとする各関係機関が連携し、太平洋側港湾が総体として緊急物資輸送機能及び物流機能の早期回復を図ることを目標に、「北海道太平洋側港湾BCP（広域港湾機能継続計画）」を策定

道央圏港湾BCP

道央圏港湾BCPは、道央圏港湾（室蘭港、苫小牧港、小樽港、石狩湾新港、白老港）において大規模災害が発生した際にも、道央圏の各港湾が相互補完体制を構築して継続的な港湾物流機能を確保・発揮し、社会経済活動への影響を最小限に抑えることを目的に策定

北海道太平洋側港湾BCPに基づく図上訓練
（R1　函館港、十勝港）